

### 事業指標の設定

- 令和元年12月に改定した札幌市強靱化計画は令和5年度までの5か年計画として、札幌市が抱える自然災害リスクや地域課題等に対応した22項目のリスクシナリオを設定。さらに、リスクシナリオの回避に向けた脆弱性評価の実施結果から、46項目の施策プログラムと206項目\*の推進事業を設定。  
\*重複と経常的経費による事業を除くと143項目
- リスクシナリオごとに事業の進捗状況を客観的に把握するため、79項目の事業指標を設定。
- 推進事業は具体性を持った着実な行動計画とするため、札幌市の中期実施計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」にも設定。

### 進捗状況

No./リスクシナリオ名	事業指標数	令和2年度未 までに達成	令和3年度以降 に達成見込	達成困難 又は困難見込
1-1 地震等による建築物等の大規模倒壊や火災に伴う死傷者の発生	15	0	14	1
1-2 土砂災害による多数の死傷者の発生	1	0	1	0
1-3 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水	2	0	2	0
1-4 暴風雪及び豪雪による交通途絶等に伴う死傷者の発生	1	0	1	0
1-5 積雪寒冷を想定した避難体制等の未整備による被害の拡大	1	0	0	1
1-6 情報収集・伝達の不備・途絶等による死傷者の拡大	2	2	0	0
2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	1	1	0	0
2-2 防災関係機関の被災等による救助・救急活動の停滞	7	3	4	0
2-3 被災地における保健・医療・福祉機能等の麻痺	2	0	2	0
2-4 旅行者を含む大量の帰宅困難者の発生	3	0	3	0
2-5 避難所の開設・運営の不備による避難所環境の悪化	1	0	1	0
2-6 市民・地域コミュニティの防災活動、防災教育の不足による被害の拡大	5	0	5	0
3-1 市内外における行政機能の大幅な低下	4	0	4	0
3-2 災害対応体制整備の不備による被災者支援の遅れ	0	0	0	0
4-1 エネルギー供給の停止	8	3	5	0
4-2 食料の安定供給の停滞	6	0	6	0
4-3 上下水道等の長期間にわたる機能停止	6	0	6	0
4-4 道外との基幹交通及び地域交通ネットワークの機能停止	9	0	8	1
5-1 サプライチェーンの寸断や中枢機能の麻痺等による企業活動等の停滞	2	0	2	0
6-1 災害廃棄物の処理の停滞等による復旧・復興の大幅な遅れ	0	0	0	0
6-2 復旧・復興等を担う人材の絶対的不足	1	0	1	0
6-3 貴重な文化財や観光資源の喪失	2	1	1	0
合計	79	10	66	3

#### ◆ 令和2年度に達成した取組

事業名	事業指標	実績値	目標値
(仮称) 災害対策統合システム構築事業	市民への迅速・正確な災害情報の発信手段	整備	整備
災害情報伝達手段の多様化事業	新たな伝達手段の検討	確定	確定
避難場所環境整備事業	備蓄物資の充実	49品目	35品目
消防施設庁舎監視システム更新整備事業	災害対応力を強化している消防施設数	53施設	53施設
文化芸術施設リフレッシュ事業	文化芸術施設の改修等に着手した延べ件数	53件	30件

#### ◆ 達成困難又は困難見込の取組

事業名	事業指標	実績値	目標値
民間投資を活用した市街地再開発事業等の推進	新規再開発事業などに着手した地区数（累計）	0地区	5地区
防災を兼ねた自立分散エネルギー普及推進事業	新築戸建て住宅における太陽光発電設置割合	16.5%	24%
丘珠空港利用促進事業	丘珠空港年間利用者数	16.3万人	29万人

（実績値は令和2年度末時点）

### 総括

- 主要事業79項目のうち、5項目が新たに目標を達成し、全部で10項目が目標を達成しています。
- 概ね計画どおりの進捗となっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、達成困難又は困難見込みとなっている取組があります。